

時事新報の編輯に關する書信にして往々社員へ宛御送
致の向も有之候得其宛名の社員不在れ事ありて折角の
報道も其用と爲さるゝと穿からざれば斯る書信は一切
時事新報編輯局宛にて御送付被下度候

時事新報へ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價週
逐科廣告料ヘ左ノ如シ
一枚三錢○一箇月前金五十錢○一箇月前金三十錢
○一箇年前金六錢
○附書類社ヨリ直接ニ郵便ニテ送送スルモノニ限リ右定價ノ外ニ一箇
月二十六銭ヲ追加料ヲ申ダク

五 行 甘 活 字 ニ テ	一 行 甘 活 字 結
一 行 甘 活 字 結	一 行 二 付
自 一 行 至 十 行	八 九 十 錢
自 十一 行 至 最 后 行	七 錢
三 十 一 行 以 上	六 錢
	五 錢
	五 錢
	五 錢
	五 錢

新編

第七號

すと等しく父の言ふ所甚だ理あらずと雖も其行ふ所、非にして言文相諧するときは子は其言を耳に聞かずして竊に之を侮るのみか却て其行を目に見て之に倣ふの事實は古來今に至るまで世人の普く知る所なり左れば宗教家たる者は假令へ私徳の要を知るも唯これと口に説くのみにして自身の私に修めざるに於ては千遍萬遍の詮法も徳教外の空談たるに過ぎざる可し我輩は今日世に行はるゝ諸宗諸教の中より就て孰れか最も内行私徳に因縁深きやを以ふと共に何れの宗教家が最もよく此徳の任に適すべきや彼の宗教にあるか、此の宗教にあらか、亦同宗教の内にても何れの部分は云々にして何れの部分は斯の如しと其實際を吟味して更に又論する所あらんと欲する者なり

出張せる者多く多數種薦葉の需に不足と生じ爲めに未熟の授業生等を各町村より派遣するととあれり此等の教師は單に收穫にのみ意を注ぎ薦葉を冗費して損失の點を第二に置くとあれば自ら不足を生ずるに至る事。

以上の諸因相合して本年薦葉の欠乏を告げたるとなるが伊同縣の養殖地と云へば先づ綠野、佐位、那波、甘樂、等を最とすべし而して綠野、多胡、北甘樂三郡の如き其收穫高凡そ前年の半額に過ぎざるべしといふ。

○日本鐵道會社の貨物　總て地方に於ける貨物出入の増減は農事の繁簡より依る事なるが昨今仙臺地方は田植に忙しく又福島前橋近邊は薦葉の時節なるを以て同地方の人民は何れも貨物仕入の暇あきより例年の通り同會社の貨物は頗る少き由なり

代渥美契の盛況は百名にして者九十餘且つ近來と増築にて大坂製油は至てしたる磚造との事は左の如くラガン氏

○警察令第七號
明治十四年(十二月)甲第五十五號布達馬車取締規則第
二條馭者ノ下へ「馬丁」ノ二字ヲ加ヘ但ノ下へ「馭者」ヘ
ノ三字ヲ插入ス
但從前鑑札ヲ受ケタル馬丁ニシテ二十歳ニ満タサル
者ハ本月三十日限鑑札返納スヘシ
明治二十一年 警視總監于右司馬事務局印

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸横濱間を往復するに際し航海中に死する者毎年八九名に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらざる者が俄かに加重する者の如く畢竟船の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ずることにてもあらんか兎に角船中斯く死者の生ずることありては不都合なればとて同社に於ては原因を窮めん爲め其筋へ取

○辭令
六月二十日
東京府知事吳高明三才
御用有之三池鑛山局へ出張ヲ命ス(六月十九日大藏省)
大藏省參事官 橫瀬 文彦

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらず
る者が俄かに差重る者の如く畢竟船の動搖すると共に
心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ずることにてもあ
らんか免に角船中斯く死者の生ずることありては不都
合なればとて同社に於ては原因を窮りん爲め其筋へ取
調と請求する筈ありといふ

○鐵道運輸收入　去月中鐵道局運輸收入は左の如し（
人類學取調ノ爲メ北海道出張ヲ命ス（六月十九日帝國
大學）

鐵道局	旅客貨金	貨物貨金	合計
東京、横濱、神戶、函館、新潟、長崎、福岡、鹿児島、大分、熊本、佐賀、福岡、長崎、新潟、	四百一十五萬一千五百四十一圓	一百一十一萬一千五百四十一圓	五百二十六萬一千五百四十一圓

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸横濱間を往復するに際し航海中に死する者毎年八九名に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらざる者が俄かに差重る者の如く畢竟の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ずることにてもあらんか免に角船中斯く死者の生ずることありては不都合なればとて同社に於ては原因を窮りん爲め其筋へ取調と請求する筈ありといふ

○織物學校設立の計畫 我國に於ても凡て織物と爲すには縦絲は何處產横絲は何處製と略ば定りありて各地の織物所に於ては皆其供給を一二の產地に限る事なり左れば其地に於ては事ら縦絲あり横絲あり其需用のある所に從ひ製出するを以て其製造も繁雜ならずして唯ゞ一圖に之に從事するより自ら精巧と極むるを得べし歐洲諸國に於ても各織物所よ於ては其習慣矢張同様

横間	横間
梅津間	一二、五二八・八一五
高崎、横	一、六三八・七三〇
五、三九九・三四〇	一四、一六七・五四五
一、五五六・六七〇	一、五五八・六二〇
六、九五五・九一〇	一四、〇三五・九五〇
長野、直	一〇、四六七・三三〇
江井間	三、五五八・六二〇

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸横濱間を往復するに際し航海中に死する者毎年八九名に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらざる者がいかに差重る者の如く畢竟船の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ずることにてもあらんか兎に角船中斯く死者の生ずることありては不都合なればとて同社に於ては原因を窮りん爲め其筋へ取調と請求する筈ありといふ

○織物學校設立の計畫 我國に於ても凡て織物と爲すには縦絲は何處產縦絲は何處製と略ば定りありて各地の織物所に於ては皆其供給を一二の產地に限る事なり左れば其地に於ては専ら縦絲あり縦絲あり其需用のある所に從ひ製出するを以て其製造も繁雜ならずして唯ゞ一箇に之に從事するより自ら精巧を極むるを得べし歐洲諸國に於ても各織物所よ於ては其習慣矢張同様みて其產地製法よりて或は縦に用ふ其縦絲に用ふるにも例へるに織物に最も大切あるは縦絲にして絲の質の善くし得るものゝ多く縦に用ふるに用ふるにも例へず需るに用ふる從と其他の織物に用ふるものとは自ら

津浦戸、大	六四、三七二・一〇〇	一八、〇五五・三〇八	八二、四二七・四〇八
教育費、武	二一、五一五・一〇〇	八、三八五・一五〇	三九、九〇〇・二五〇
賃金、理	一五五、八〇二・五八五	三九、七四四・二六八	一九、五四六・八五三
總計			

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸横濱間を往復するに際し航海中に死する者毎年八九名に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらざる者が俄かに重くなる者の如く畢竟船の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變することにてもあらんか兎に角船中斯く死者の生ずることありては不都合なればとて同社に於ては原因を窮めん爲め其筋へ取調べて請求する筈ありといふ

○織物學校設立の計畫 我國に於ても凡て織物と爲すには縦絲は何處産縦絲は何處製と略ば定りありて各地の織物所に於ては皆な其供給を一二の產地に限る事なり左れば其地に於ては事ら縦絲あり縦絲あり其需用のある所に從ひ製出するを以て其製造も繁雜ならずして唯ざ一團に之に從事するより自ら精巧を極むるを得べし歐洲諸國に於ても各織物所又於ては其習慣矢張同様みて其產地製法よりて或は縦に用ひ或は横に用ふるものとは自ら差別あり我國の生絲の如きは或人の話に依れば西洋にして崩れるものゝ多く縦に用ふる縦絲に用ふるにも例へば繩子に用ふる縦と他の織物も用ふるものとは自らにして我國の製絲に從事する人は我國の絲の其縦に

○桑葉騰貴の原因 上州に於て本年桑葉の非常に騰貴せし爲め蠶兒の飼養に當惑し川に棄て土に埋むるもの少ぶからざる趣は去る十四日の本紙にて掲載せし所な

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸横濱間を往復するに際し、航海中に死する者毎年八九名に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらざる者が俄かに差重る者の如く畢竟船の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ずることにてもあらんか免に角船中斯く死者の生ずることありては不都合なればとて同社に於ては原因を窮めん爲め其筋へ取調と請求する筈ありといふ

○織物學校設立の計畫 我國に於ても凡て織物と爲すには縦絲は何處產横絲は何處製と略ば定りありて各地の織物所に於ては皆其供給を一二の產地に限る事なり左れば其地に於ては事ら縦絲あり横絲あり其需用のある所に從ひ製出するを以て其製造も繁雜ならずして唯ゞ一圖に之に從事せるより自ら精巧と極むるを得べし歐洲諸國に於ても各織物所又於ては其習慣矢張同様みて其產地製法又依りて或は縦に用ひ或は横に用ふ然るに織物に最も大切あるは縦絲にして絲の質の善くして崩れるものが多く縦に用ふ其縦絲に用ふるにも例へば縦子に用ふる縦と他の織物又用ふるものとは自ら差別あり我國の生絲の如きは或人の話に依れば西洋にては縱に用ふるをども云へど之れは甚ゞ不明のことを以て我國の製絲に從事する人は我國の絲の其縦に用ひらるゝや又た如何なる織物に如何ある質の絲を需用そるや其邊は少しも知らずして唯ゞ矢繩に輸出する製造家も一意縦絲或は横絲に從事して精巧を得る能は

るが右桑葉賄賣の原因なりとて同地方の其道に精しき人より投寄したる所を見るに

○脚氣病者 横濱間を往復するに際、航海中に死する者毎年八九名に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらず、る者が俄に重る者の如く畢竟船の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ずることにてもあらんか兎に角船中斯く死者の生ずることありては不都合なればとて同社に於ては原因を窮りん爲め其筋へ取調と請求する筈ありといふ。

○織物學校設立の計畫 我國に於ても凡て織物と爲すには縦絲は何處、產横絲は何處製と略ば定りありて各地の織物所に於ては皆其供給を一二の產地に限る事なり左れば其地に於ては専ら縦絲あり横絲あり其需用のある所に從ひ製出するを以て其製造も繁雜ならずして唯ざ一圖に之に從事せるより自ら精巧を極むると得べし歐洲諸國に於ても各織物所よ於ては其習慣矢張同様みて其產地製法よりて或は縦に用ひ或は横に用ひ然るに織物に最も大切あるは縦絲にして絲の質の善くして崩れるものゝ多く縦に用ひ其縦絲に用ひるにも例へば繩子に用ひる縦と他の織物も用ひるものとは自ら差別あり我國の生絲の如きは或人の話に依れば西洋にては縦に用ひるをども云へど之れは甚ざ不明のことをぞるや其邊は少しも知らずして唯ざ矢縦に輸出するを以て其貿易の上に非常の不便あるのみあらず我國の製造家も一意縦絲或は横絲に從事して精巧を得る能はざるの傾きあるを以て若し佛國織物學校の如きものそにして我國の製絲に從事する人は我國の絲の其縦に用ひらるゝや又た如何なる織物に如何ある質の絲を需用をそるや其邊は少しも知らずして唯ざ矢縦に輸出する我國にも立て西洋の反物を我國にて織り學問上の考を以てする時は其我國の絲を以て織る間に何の反物何の織物には斯くの絲の適する事を發見するに至らん

附曰厚紙一枚と飼養するには少なくとも桑葉凡そ十五
駄乃至十五駄を要も然るに本年は桑葉二十駄と所持
するものにして三五枚を捕立てる者多きよし

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらず者が俄かに差重る者の如く畢竟船の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ることにてもあらんか兎に角船中斯く死者の生ずることありては不都合なればと同社に於ては原因を窮りん爲め其筋へ取調と請求する筈ありといふ

○織物學校設立の計畫 我國に於ても凡て織物と爲すには縦絲は何處産横絲は何處製と略ば定りありて各地の織物所に於ては皆な其供給を一二の產地に限る事なり左れば其地に於ては専ら縦絲あり横絲あり其需用のある所に従ひ製出するを以て其製造も繁雜ならずして唯^一一間に之に從事せるより自ら精巧を極むるを得べし歐洲諸國に於ても各織物所又於ては其習慣矢張同様みて其產地製法又依りて或は縦に用ひ或は横に用ふ然るに織物に最も大切あるは縦絲にして絲の質の善くして縫^{さわ}れるものゝ多く縦に用ふ其縦絲に用ふるにも例へば繩子に用ふる縦と他の織物も用ふるものとは自ら差別あり我國の生絲の如きは或人の話に依れば西洋にては縦に用ふるを云へど之れは甚ざ分明のことを以て我國の製絲に從事する人は我國の絲の其縦に用ひらるゝや又た如何なる織物に如何ある質の絲を需用するや其邊は少しも知らずして唯^一矢鱈に輸出するを以て其賣捌の上に非常の不便あるてみあらず我國の製造家も一意縦絲或は横絲に從事して精巧を得る能はざるの傾きあるを以て若し佛國織物學校の如きものを我國にも立て西洋の反物を我國にて織り學問上の考を以てする時は其我國の絲を以て織る間に何の反物何の織物には斯くの如きの絲の適する事を観見するに至らん然る時は其經驗に依りて知り得たる絲を製造して西洋に賣出を事と爲さ^レ日本生絲は賣捌の上に將來非常に好都合を來すなるべしとの事にて昨今織物の事より心なる人の中には奔走中なりと云ふ

第二 本年は例年に比て暖の発生凡て一週間も早く左て桑葉の繁茂に恰當せざる事

○脚氣病者 脚氣病者が郵便會社の汽船に乘込み神戸横濱間を往復するに際し航海中に死する者毎年八九名に及ぶ事ありて初め乗込む時は左程の重症にもあらずる者がほかに差重る者の如く畢竟船の動搖すると共に心臓の鼓動を促し終に衝心症に變ずることにてもあらんか兎に角船中斯く死者の生することありては不都合なればとて同社に於ては原因を窮りん爲め其筋へ取調べと請求する筈ありといふ

○織物學校設立の計畫 我國に於ても凡て織物と爲すには縦絲は何處産横絲は何處製と略ば定りありて各地の織物所に於ては皆な其供給を一二の產地に限る事なり左れば其地に於ては専ら縦絲あり横絲あり其需用のある所に從ひ製出するを以て其製造も繁雑ならずして唯ざ一團に之に從事せるより自ら精巧と極むるを得べし歐洲諸國に於ても各織物所より於ては其習慣矢張同様みて其產地製法よりて或は縦に用ひ或は横に用ふ然るに織物に最も大切あるは縦絲にして絲の質の善くして綻ほじくれるものゝ多く縦に用ふ其縦絲に用ふるにも例へば縦子に用ふる縦と他の織物より用ふるものとは自ら差別あり我國の生絲の如きは或人の話に依れば西洋にては縦に用ふるをども云へど之れは甚ざ不明のことを以て我國の製絲に從事する人は我國の絲の其縦に於として我國の製絲に從事する人は我國の絲の其縦に用ひらるゝや又た如何なる織物に如何ある質の絲を需用せるや其邊は少しも知らずして唯ざ矢鱈に輸出するを以て其實捌の上に非常の不便あるにあらず我國の製造家も一毫縦絲或は横絲に從事して精巧を得る能はざるの傾きあるを以て若し佛國織物學校の如きものと我國にも立て西洋の反物を我國にて織り學問上の考を以てする時は其我國の絲を以て織る間に何の反物何の織物には斯くの絲の通する事を發見するに至らん然る時は其経験に依りて知り得たる絲を製造して西洋に賣出を事と爲さば日本生絲に賣捌の上に將來如何に好都合を來すなるべしとの事にて昨今織物の事より心なる人の中には奔走中なりと云ふ

○愛知醫學校 地方稅の支拂を離れてより各府縣の醫學校は大抵廢絶するに至りたりしが愛知醫學校は其後も引續き獨立維持して今日あるを得たるに付該校及び

家は一日の分量を平年と均よく與へたるが故に酒税
は、食鹽す能は少して冗費に屬するもの多き事
第四 通常の養鷄家は近來養鷄に關する各社、各組合
より教訓を傳するも多し然るに各社ても熟練な
より教訓を傳するも多し然るに各社ても熟練な

宗 教 の 要
宗教の歴史は宗教の社會中に歴しと雖も我輩に於ては祖先傳來の性質を享けたるに由るか之に向ては特に甚だ淡泊なるものなり斯く淡泊なるも實は其眞味を知らざるに坐するものならんされば宗教の理非邪正は俄々之を斷ることと爲されども唯身は全く局外に在るが故に宗教が果して社會の人事に功德と與ふるや否やを望見するに當りては自ら其明なさに非ざるなり蓋し下流人民の社會に於て宗教と稱すべし宗教の行はるゝ處よりは甚ざしき殘酷の所爲を見るに稀にして無宗教の里よりは必ず殺伐不人の氣風を催ほし殆んど人類の情を解せざるもの多き其次第は之と歴史に徵し又今日の實際を見て歴を知るに足るべし所あれば宗教は實に人意を和するの功德あるものなりとハ決して争ふ可らざるものゝ如し果して然りとすれば我輩は宗教の理非邪正を知る者に非ずと雖も唯この功德の最も多く所に從はんと欲するものにして其趣は喻へば爰々數種の酒を並べて其水分の多少、酒精の如何と吟味せんとするには化學的の分析を要するに於て我輩は化學士より非ざるダ故より容易に何れと長どし何れを惡しくとせる事能はれども之と飲用して醉心のよきものは先づ以て最良の酒となすに異あらず左れば耶穌教にまれ佛法にまれ唯その實際に功德の多きものは國內に勢力を得んことを望ましに次第にして世間我輩と此感を同ふせるの人も亦蓋し少なうらざる可きを信するなり

初その功德の現はるゝ所の何れの點にあるやと尋ねるに人間の道德よりするは固より論を俟たざる所にして又其道德の中より公徳私徳の兩様と區別し我輩の所望ハ宗教の光明として先づ其私徳の部分と照し品行腐敗の衆生を攝取して然る後に邇く公徳の十方世界をも照さしめんふと欲するものなり蓋し道德の事に就てハ屢々本紙上に陳べたる如く我輩の常より處世公徳の發達と居處私徳の根據に求めんとする者なれば宗教にして果して人民脩徳の上より効力あるものとせん。其力を用るより私徳を先にして公徳と後にする一事の順序ある所も然り而して宗教の性質は他の智育體育に異あり受取して教えらるゝ者の體育を實に足らざりせば傳授の耳より入らずして目より入るものなれば其取扱實に間違す可らざるにも拘はらず之を教ゆる者の行為をして教えらるゝ者の體育を實に足らざりせば傳授の耳より入らずして目より入るものなれば其取扱